事例No.	1440
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	埼玉県東松山市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・新たな政策手法の確立・活用 ・税財政

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

公共施設の木質化

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

埼玉県　東松山市（公共施設の木質化）

- 東松山市では、森林環境譲与税を中長期的な視点で計画的に使用するため、東松山市森林環境基金を設置し、使途について基金活用検討委員会において全庁的な協議を行うなど、効果的かつ適正な執行が行える体制を整備している。
- 令和２年度においては、保育園の定員増加に伴い必要となった幼児用の備品（ロッカー、げた箱）を整備した。調達にあたっては基金活用検討委員会から、可能な限り本市の水害対策にも資するようにとの条件が付されたことを受け、使用する木材については、本市を流れる都幾川上流域に位置するときがわ町産材を使用した。このことにより間接的に本市の水害対策に寄与するとともに、地場産の木材を使用することで森林整備に対する住民への理解促進を図った。
- 令和３年度においては、市内子育て支援センターに設置されている屋内木製遊具の更新や緑地指定されている私有林等の森林整備、児童向けの野外体験学習を通じた意識啓発を行う予定。

□　事業内容

公立保育園運営事業

- 市内を流れる都幾川上流部に位置するときがわ町産材を活用し、公立保育園の幼児用ロッカー、げた箱を整備した。

【事　業　費】605千円（全額譲与税）

（譲与税は木質材料費（調達経費を含む）及び木工事費分に充当）

【実　　績】ロッカー３台、げた箱１台

（木材使用量0.59㎥）



（伐採）



（運搬）



（製材）





（組立・塗装）

□　工夫・留意した点

・本市は、令和元年東日本台風により河川が氾濫し、甚大な被害を受けた。このため備品調達にあたっては、本市の水害対策に資するよう上流部に位置するときがわ町産材を使用した。

・木材については、森林整備に繋がるよう埼玉県中央部森林組合と連携し、伐採から製材、加工までを一体的に取り組んだ。





（完成）

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	7,578千円
②私有林人工林面積（※１）	57ha
③林野率（※２）	7%
④人口（※３）	91,437人
⑤林業就業者数（※３）	1人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より